



葉 山 町
令和5年9月12日
記 者 発 表

「藻場の保全・再生及び漁業資源増殖のための連携に関する協定」 を締結しました

葉山町は、葉山町漁業協同組合、鹿島（鹿島建設株式会社）と「藻場の保全・再生及び漁業資源増殖のための連携に関する協定」を締結しましたのでお知らせします。



協定調印式の様子（左から鹿島、葉山町漁業協同組合、葉山町）

2016年頃より葉山町沿岸では、魚介類の産卵、生息及び生育の場や水質浄化等、多面的な機能を有する藻場(※1)の減退が進んでおり、問題となっています。

このことから、葉山町、葉山町漁業協同組合、鹿島の3者で、残存する藻場の保全及び減退した藻場の再生や海藻養殖の生産性向上を図るため、次の取り組みを連携して行うことを目的に、本協定を締結しました。

- 1 藻場の保全・再生に関すること。
- 2 藻場の保全・再生による漁業資源の増殖に関すること。
- 3 上記2項目の周知啓発・教育に関すること。

※1「藻場」とは、アラメ、カジメ、ワカメ、ヒジキなど、多年生又は単年生の海藻類が一定の密度で生育する場のことをいいます。



磯焼けが進む葉山町沿岸の藻場の状況
(2018年)



葉山町沿岸の藻場の再生状況
(2023年)

なお、3者による協定調印式を昨日執り行いました。調印式の概要は以下のとおりです。

日 時 2023年9月11日(月) 16時00分～16時45分

場 所 鹿島建設株式会社技術研究所(東京都調布市飛田給2-19-1)

出席者 葉山町長 山梨 崇仁

葉山町漁業協同組合 代表理事組合長 角田 正美

鹿島建設株式会社 専務執行役員 技術研究所長 利穂 吉彦

参考情報

2006年度に、葉山町漁業協同組合、鹿島、地元ダイビングショップ、葉山町立一色小学校で構成された、「葉山アマモ協議会」という組織を立ち上げました。

葉山アマモ協議会では、ウニの除去活動、カジメのスポアバック(胞子を撒く)活動、陸上生産したカジメの種苗設置等、藻場の再生活動を行うとともに、町立一色小学校の児童とアマモの苗づくりや「地域の藻場再生と漁業」に係る特別授業を行っています。

「葉山アマモ協議会」の取り組みの一部は、国(水産庁)の「水産多面的機能発揮対策交付金」を活動費に充てており、葉山町も補助金を交付しています。



葉山アマモ協議会による藻場保全活動の様子

問い合わせ
葉山町都市経済部産業振興課 行谷、小峰
TEL:046-876-1111 内線 371、372